

令和３年度広島市民賞受賞者名簿

[個人]（６名）

（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	なかたに 中谷 雄英	広島市 佐伯区	広島市出身の同氏は、昭和 39 年（1964 年）に日本で開催された東京オリンピック「柔道競技」の男子軽量級に出場し、柔道がオリンピックの正式競技となって初めての金メダルを獲得した。 その後は広島県柔道連盟理事長や全日本柔道連盟理事などを歴任し、豊富な競技経験をいかした指導で全国大会・国際大会で活躍する選手を多数輩出するなど柔道競技の普及・発展に大きく寄与した。 特に、広島で開催された平成 6 年（1994 年）の第 12 回アジア競技大会及び平成 8 年（1996 年）の第 51 回ひろしま国体では、広島市柔道連盟会長として先頭に立って指揮を執り大会の成功に大きく貢献した。 これらの功績が認められ、平成 12 年（2000 年）には文部大臣表彰（スポーツ功労）、平成 15 年（2003 年）には藍綬褒章、平成 23 年（2011 年）には旭日双光章を受賞した。 そして、令和 3 年（2021 年）11 月に文化功労者に選出された。
2	きくち りょうすけ 菊池 涼介	広島市 南区	同氏は、平成 24 年（2012 年）に広島東洋カープに入団後、9 年連続 9 回ゴールデン・グラブ賞の受賞、最多安打のタイトル獲得、セ・リーグベストナインに選出されるなどの活躍を続け、平成 28 年（2016 年）から平成 30 年（2018 年）までの広島東洋カープリーグ 3 連覇にも大きく貢献した。 令和 2 年（2020 年）にはプロ野球史上初の二塁手守備率 10 割（シーズン無失策）を達成し、セ・リーグ連盟特別表彰（リーグ特別賞）を受賞した。 そして、令和 3 年（2021 年）に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年（1992 年）以降初めての金メダルの獲得に貢献した。

番号	氏名	住所	功績概要
3	すずき せいや 鈴木 誠也	アメリカ合衆国	同氏は、平成 25 年（2013 年）に広島東洋カープに入団後、6 年連続 6 回セ・リーグベストナインに選出されたほか、ゴールデン・グラブ賞を 5 回受賞するなどの活躍を続け、平成 28 年（2016 年）から平成 30 年（2018 年）までの広島東洋カープリーグ 3 連覇にも大きく貢献した。 令和元年（2019 年）及び令和 3 年（2021 年）には首位打者及び最高出塁率のタイトルを獲得した。 そして、令和 3 年（2021 年）に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年（1992 年）以降初めての金メダルの獲得に貢献した。
4	くりばやし りょうじ 栗 林 良 吏	広島市 南区	同氏は、令和 3 年（2021 年）に広島東洋カープに入団し、抑え投手として開幕から 22 試合連続無失点を記録して新人投手の日本記録を更新するとともに、37 セーブを記録して新人投手のタイ記録に並ぶなどの優秀な成績を収め、セ・リーグ最優秀新人賞（新人王）を獲得した。 そして、令和 3 年（2021 年）に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年（1992 年）以降初めての金メダルの獲得に貢献した。
5	もりした まさと 森 下 暢 仁	広島市 南区	同氏は、令和 2 年（2020 年）に広島東洋カープに入団し、1 年目から 10 勝、防御率 1.91 を記録するなどの優秀な成績を収め、セ・リーグ最優秀新人賞（新人王）を獲得した。 そして、令和 3 年（2021 年）に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年（1992 年）以降初めての金メダルの獲得に貢献した。
6	やなぎた ゆうき 柳 田 悠 岐	福岡県 福岡市	広島市出身の同氏は、平成 23 年（2011 年）に福岡ソフトバンクホークスに入団後、パ・リーグベストナインに 6 回選出、ゴールデン・グラブ賞を 6 回受賞するなどの活躍を続けている。 平成 27 年（2015 年）にはプロ野球史上初のトリプルスリー（打率 3 割・30 本塁打・30 盗塁）と首位打者を同時に達成し、パ・リーグ最優秀選手に選出された。以降、最高出塁率及び最多安打などのタイトルを獲得し、令和 2 年（2020 年）には 2 回目のパ・リーグ最優秀選手に選出された。 そして、令和 3 年（2021 年）に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年以降、初めての金メダルの獲得に貢献した。

[団体] (2 団体)

(敬称略)

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島市植物 公園ガイド ボランティア	広島市 佐伯区 (20 年)	同団体は、広島市植物公園において、園内植物のガイド活動や自然体験学習の実施などを行っているボランティア団体であり、平成 13 年（2001 年）から活動を開始している。 園内植物のガイド活動に当たっては、定期ガイドや夜間開園などのイベント時のガイドのほか、小学校などを対象とした団体ガイドも行っており、約 20 年にわたり、延べ 36 万人以上の入園者に植物の魅力を伝え続けてきた。 また、植物を通じて自然の不思議を体験しながら楽しく学べる自然体験学習を実施し、平成 25 年（2013 年）から約 8 年間にわたり、延べ 5,000 人以上の子供に自然と触れ合う機会を提供し続けてきた。 同団体のこうした活動は、市民の植物への関心や自然保護に関する意識の向上につながるとともに、地域の魅力創出に大きく貢献している。
2	あきく魅力探見隊	広島市 安芸区 (20 年)	同団体は、自然豊かな安芸地区（安芸区、府中町、海田町、熊野町及び坂町）の山々を登山者が安心・安全・快適に楽しむことができるよう、ハイキングコースの整備や周知などを行っているボランティア団体であり、平成 13 年（2001 年）から活動を開始している。 ハイキングコースの整備に当たっては、月に 1 回、登山道の草刈りや倒木の処理を実施するとともに、随時、登山道の補修などを行っている。そのほか、ハイキングコースを示す手作りの道標を平成 27 年度（2015 年度）までに 400 本以上新設し、その後は朽ちた道標の交換を継続して行っており、平成 31 年（2019 年）には五つの山にベンチを新設するなど、ハイキングコースの整備に大きく寄与している。 さらに、年に一度、安芸区役所と連携して「区民ハイキング」を開催し、区内外の住民に自然豊かな山々に親しんでもらう機会を提供するほか、SNS を通じて自然豊かな安芸地区の山々の魅力を発信し続けている。 同団体のこうした活動は、地域の魅力向上及び市民の健康づくりに大きく貢献している。